

寝たきり状態から立位保持

～ 3年目の私が感じた「きせき」～

エスティームライフ学園前

M様

90歳 女性

- **要介護度** 4
- **現病歴** 廃用症候群、認知症
- **既往歴** 腰椎圧迫骨折 大腸癌



- **障害高齢者の日常生活自立度** C 2
- **認知症高齢者の日常生活自立度** IV

入居前 ～ご主人の在宅介護～

- ・ 1日中ベット上での生活
- ・ ご主人が見えなくなる
⇒ 大声を出す

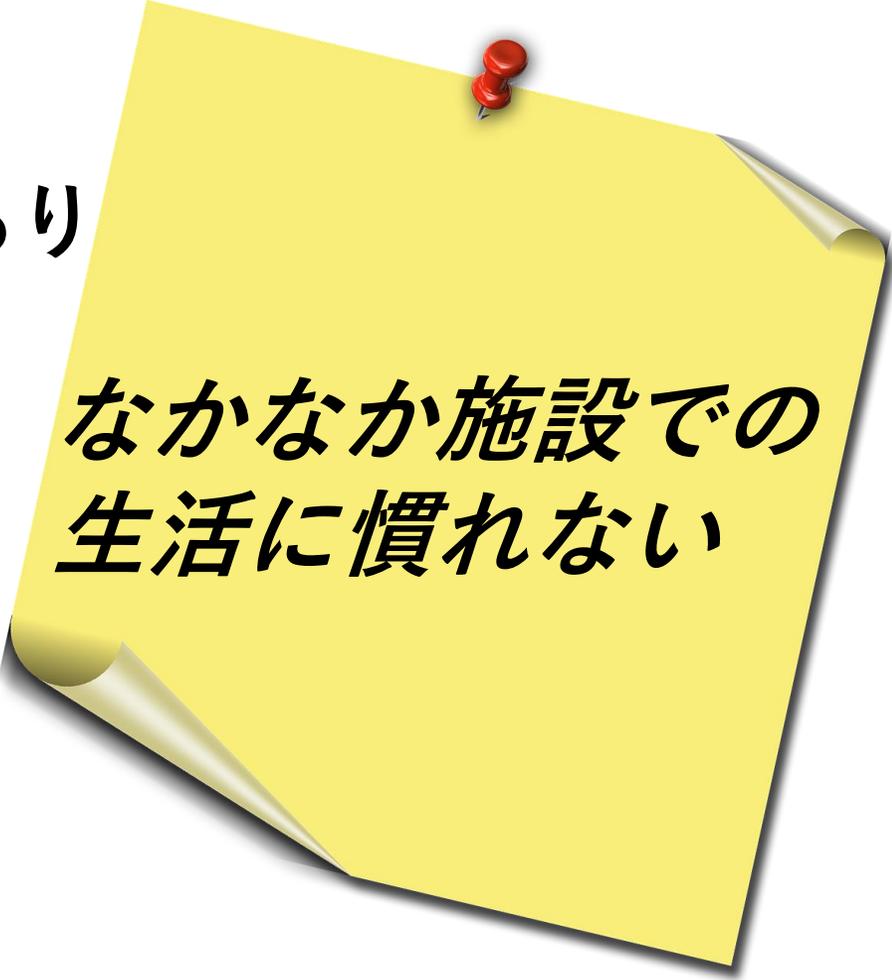
ご主人に依存



入居時 ～居室・ベッド上での生活～

- ・ ACの時間だけ車椅子で参加
⇒ 離床してもすぐに臥床したいと訴えあり

- ・ ベッド上で排泄交換
パット外し・オムツずらし
➡ 最低1時間に1回以上の排泄交換
(全身更衣・シーツ交換)



なかなか施設での
生活に慣れない

日中だけでなく夜間にも全身更衣

～M様の変化～

パット外し・オムツずらし

- ・スタッフの顔を覚える
- ・少しずつ心を開く
- ・信頼関係ができる

あんた、
また来て
くれたんか

ありがとう

「トイレで排泄をしたい」



トイレ誘導を試したらどうか…！

～現状～

- ・ 座位が不安定
- ・ 立位保持困難
(2名介助)

座位の安定を目指す

~~トイレサークル使用~~

1日1回

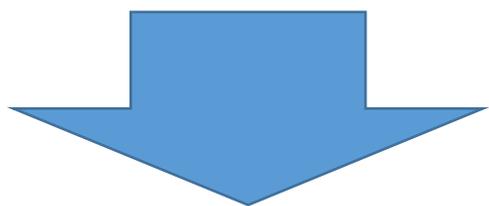
座位の安定

1日3回
朝・昼・晩

～トイレ誘導継続での変化～

～現状～

- ・ 座位が安定
- ・ 2人介助での立位が安定



手すりを持ち立位保持を目指す

1日3回
朝・昼・晩

~~パット外し~~
~~オムツずらし~~

2名介助での
立位の安定

ケアプラン

1年後の目標

トイレで排泄する時に自分で立ちたい

取り組み

握力向上

立位保持UP

トイレで排泄する時に自分で立ちたい

～手すりを持つ
握力向上の取り組み～

- ・タオルの引っ張り合い
- ・海苔の瓶、蓋を開ける



トイレで排泄する時に自分で立ちたい

～立位保持に向けた取り組み～

3 : 両手で手すりを持って立位保持
スタッフの一部介助 (1人介助)

③両手立位

2 : 片手のみ手すりを持って立位保持
スタッフの前介助 (2人介助)

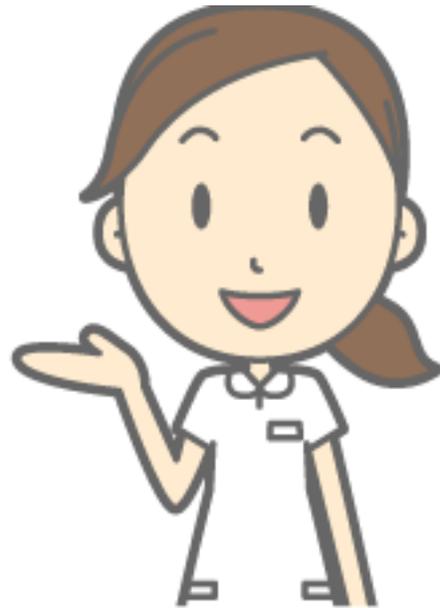
②片手のみ
てすり

1 : 介助者が前介助にて介助し立位保持
(2人介助)

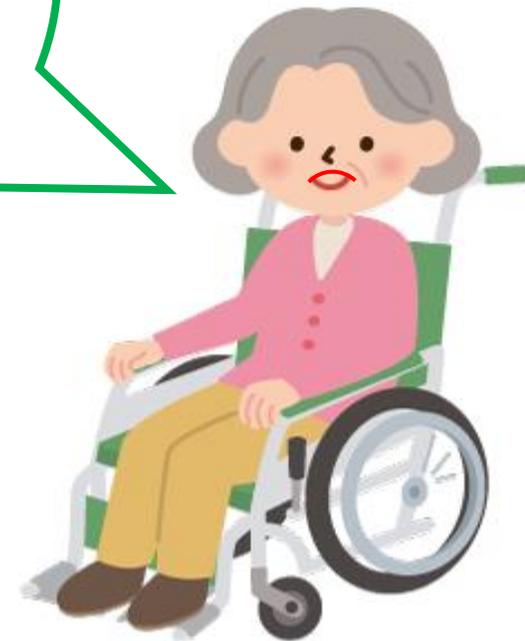
①前介助

～M様の変化～

「瓶の蓋
あけてください」
「立ちましょう」



「蓋開けて」
「立てない」
「あかんわ」



～M様の変化～

「開けてほしいです」
「立ってもらえると
助かります」

「蓋開けましょか？」
「立つから手伝って」

「立とうか？」
「よっしゃ」

声掛けの工夫

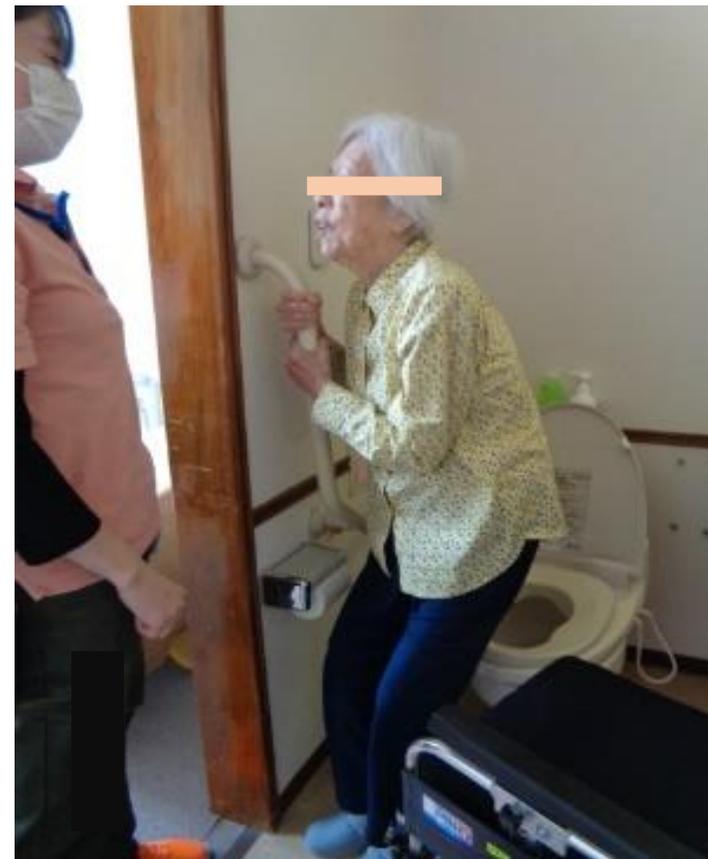


ケアプランを実施した結果 ～両手で手すりを持って立位保持～

支えあり



支えなし



ご家族の言葉



これだけ元気になって嬉しい
トイレで排泄する事が1番の望み
これ以上はなにもない

～ 3年目の私が感じた「きせき」～

き

気持ちの変化

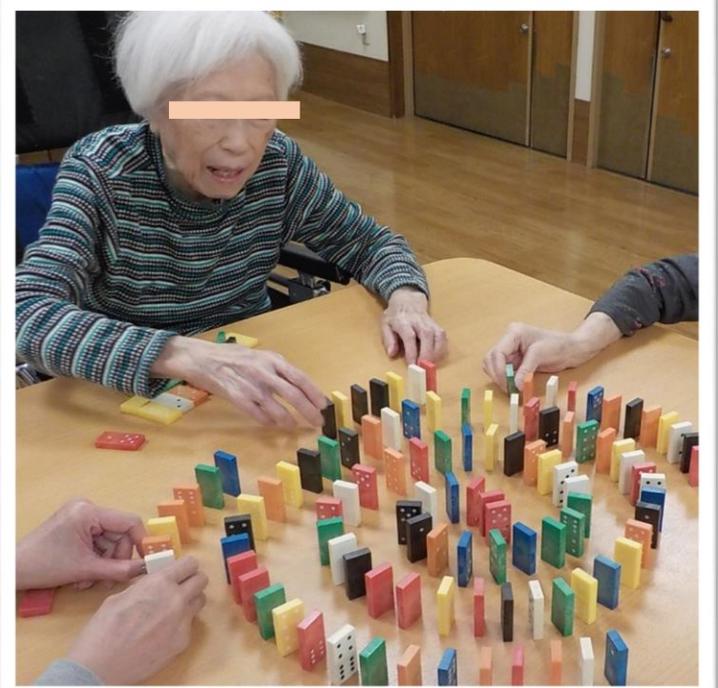
せ

生活の質の向上

き

協力





ご清聴
ありがとうございました

